平成 23 年度　事務事業事後評価調書（平成　22　年度事業）

整理番号	11 － 23

1　事務事業の表示

※ ■ ： 該当

事務事業名	学校図書館整備事業					
評価者	担当課名		教育振興課	担当係名		教育総務係
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
		氏名	髙橋健仁		氏名	安井雅憲
事業の概要	学校図書館蔵書の重点的な購入や、書架の整備を含めた読書環境の改善を図り、健全な教養を育成する場として環境整備を行う。			全体計画	/期間限定複数年度	
				（平成　年度～　年度）		
				事業費	国・道支出金	千円
					地方債	千円
					その他	千円
					一般財源	千円
					事業費計	千円
実施方法	■ 直営		□ 民間委託		□ その他（　）	
第５期総合計画（前期）			□ 登載事業	■ 非登載事業	優先度	B
事業の位置付け	政策目標	3	のびやか・雄武～教育・文化の振興～			
	基本施策	12	学校教育の充実			
	単位施策	2	小中学校の教育環境の充実			
	事務事業の種類	■	自治事務	□	法定受託事務	
	その他計画・根拠等		新学校図書館図書整備５カ年計画			

事業費	実施年度	20年度（実績）	21年度（実績）	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(計画)
	国・道支出金	千円	千円	4,000 千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額（一般財源）	千円	千円	千円	千円	千円
	合計	千円	千円	4,000 千円	千円	千円

2　事務事業の目的・内容（Plan・Do）

【誰、何が（対象）】	児童・教職員	望ましい指標（目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標）		
【抱える課題やニーズは】	傷みの激しい蔵書が多く、必要な除籍を行うことで蔵書数を確保するためにも重点的に購入する必要性がある。また、読書環境の改善を要する。	小中学校のうち整備を要する小中学校数		
		指標（指標計算式／解説）	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか（意図）】	老朽図書の除籍に伴う補充を行うとともに、周辺環境を整える。	① 要整備小学校数	目標年度	平成２２年度
			目標値	2 校
			実績値	2 校
			達成度	100.0 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】※成果＝目的	児童の読書環境の改善を図り、適正な学校図書館を運営し、教養育成の充実を目指す。	②	目標年度	
			目標値	
			実績値	
			達成度	%

内容（どのような手段で何を行ったか）	
学校意向確認	学校図書館の整備意向を各学校に確認し、希望校から提出のあった整備項目の精査を行った。
各種整備	見積合せにより物品等を発注し、整備を行った。

3　事務事業の評価（Check）

（1）事務事業の必要性（町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性）

必要 必要／概ね必要／課題あり	■義務的なもの □全部 ■一部	学校図書館法で設置義務となっている学校図書館は、健全な教養を育成することを目的とされており、蔵書を含めて環境整備は必要なものである。

(2)事務事業の有効性（期待する効果が得られたか）

有効 有効／概ね有効／課題あり	設定した目標値の達成状況 ■達成 □ほぼ達成 □下回る	図書館の環境が整備され、児童の活用度が高くなり、読書意欲が増している。

(3)事務事業の効率性（コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか）

効率的 効率的／概ね効率的／課題あり	判断の理由 □事業費抑制 □人員削減 ■時間短縮・作業軽減 □その他	図書の除籍・補充と環境整備により蔵書の配架等も改善し、図書管理も簡素化できた。

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／公平でない	判断の理由 □受益者負担がある □受益者負担がない □受益が一部に偏る ■その他	改善を要する学校の図書館が整備され、等しく活用度の高い環境が保たれるとともに、児童全員の利用に供することが出来る。

4　総合評価【A～D】

A：計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当　等
B：ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要　等
C：当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要　等
D：事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要　等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A		
学校図書館の拡充とともに、学校の要望に沿った環境整備が図られ、計画どおり実施することができた。		

今後の展開方向
(Action)

終了		
事業完了により終了		

＊展開方向の区分
○ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更　○ 終了　○ 休止　○ 廃止

5　その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）